

【 1月11日(水) 北海道新聞(夕刊) 9面 】

ガラスに咲く花々 室蘭で工芸作品展

製鉄記念室蘭病院（知利別町）のせいてつギャラリーで、ガラスに絵や模様を刻む欧州の工芸「グラスリッツェン」作家で室蘭出身の増子恵美子さん(70)の作品展が開かれている。

グラスリッツェンは先端にダイヤモンドが付いたペンでガラスの表面を削る技法。増子さんは2000年に室蘭で開かれた展覧会で作品に魅了されて制作を始めた。複数のガラス板の間に和紙や着物の生地をはさんで色を表現するなど独自の表現を追求している。

個展では「患者さんの気持ちが明るくなるように」とボタンやヒマワリなど花を題材にした作品を中心に18点を展示。ヒマワリの種の質感は点描で細やかに再現している。古い柄の着物の帯を使

▼ ガラスを削って表現した作品が並ぶグラスリッツェンの作品展



った作品も並ぶ。

無料。2月17日まで。問い合わせは同院経営企画課 ☎0143・47・4404へ。
(生田憲)